

「太平山麓九条の会」だより

事務局：須黒法律会計事務所
〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757
電話連絡先 0282-22-7079(増田) Eメール oohirasanroku9jo@yahoo.co.jp



QRコード



200号
2024年2月22日発行

60団体が大集合しま〜す!



3月10日(日) 11:00~15:30

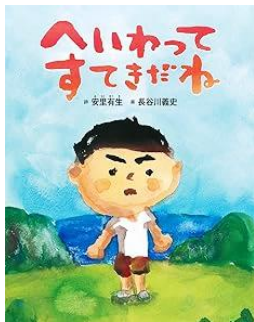
栃木市市民交流センター

栃木市をよりよい地域にしたい。栃木市でよりよく暮らしたい。そんな想いで活動している団体と市民の皆さんが集まり一緒になって開催するくららフェスタです。ご来場をお待ちしております。



「太平山麓九条の会」は

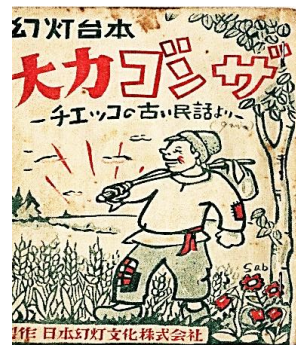
- ◆ 幻燈「野ばら」「大力ゴンザ」11:00~
- ◆ 絵本の読み聞かせ 13:30



し 安生有生
画 長谷川義史



幻燈「大力ゴンザ」
チェコの昔話「絵：田畑精一」



幻燈「野ばら」
人形劇団プーク作

ダーツで遊ぼう... 🎱🎱🎱🎱🎱🎱🎱🎱

👉 遊びに来てくださ〜い!!

幻燈屋の郡司です...。今年のくららフェスタで「野ばら」の他に「大力ゴンザ」を上演します。これはチェコの昔話、民衆のなかで語りつがれる昔話には貧乏人が金持ちをこらしめる話が多い、その一つ。貧乏な作男ゴンザが大金持ちのところに仕事を探しに行きます。金持ちが、ある約束をもちだし、承諾したゴンザに次々と大仕事をいいつけ一人でどんどんやっけてのけるゴンザにホクホク、ところがその結果は？仕事が全部終わると「じゃあ、約束のものもらってくだよ」。ゴンザが去った後には、へたりこんだ金持ち夫婦。

約束を守ってへこますのがゆかい。何が起きたかはフェスタで...



絵は田畑精一、私と同年齢。小・中で「お国のために命を捧げよ」と教育された世代です。戦中、おとうさんが亡くなり、5人の子どもの長男でお母さんを助け、アルバイトで高校を卒業。京大理学部に入るが朝鮮戦争下、大学は騒然、疑問を持った田畑は退学して、「子どものための仕事を」と、人形劇団プークに入団。「野ばら」の美術を担当し、「大力ゴンザ」の絵も描く。「子どもの本九条の会」で中心的役割。「日中韓で平和絵本を」と日本の作家たちが提案したとき、田畑が韓国を訪れ「戦争なんて大嫌いな子どもたちを育てられたら、この国の方たちへのいくらかのお詫びになるのでは」と挨拶、お互いの信頼が高まって平和絵本12冊が3か国語で出版されました。「絶対に戦争は許さない」が原点、田畑の平和絵本「さくら」(童心社)やゴンザの笑いにその力がこもっています。

「蟋蟀は 鳴き続けたり 嵐の夜」

九条の会・栃木運営委員 田中 徹歩 (記)

今、国民が主権者であるという国民主権主義、憲法に従った政治を行うべきであるという立憲主義とは程遠い政治が進行しています。そのことにより、戦後の原点であった平和国家日本の実現という理想とは、およそかけ離れた状況が生まれています。九条をないがしろにする政治です。極端な言い方をすれば、権力者は、その権力をほしいままにふるまい、わが国を戦争する国にしようとしています。中には、「台湾危機」にかこつけて戦争する覚悟を訴える政治家まで現われています。

そんなことを考えると、重い気分になります。何とかできないものか、何とか活路を見出せないものかと、こころある多くの人は考えているのではないのでしょうか。

ここで気持ちを奮い立たせて、そのような中でも、ひるまず、地道に歩いていくことが大事であることを述べた、先人の言葉を紹介したいと思います（井出孫六「抵抗の新聞人桐生悠々」より）。

それは、戦前の気骨のジャーナリスト桐生悠々の言葉です。

1933年（昭和8年）、桐生悠々が、信濃毎日新聞に「関東防空大演習を嗤う」を書いて、同新聞を逐われたということをご承知の方もい

ると思います。その後は個人雑誌「他山の石」に依って、事前検閲と度重なる発禁処分と闘いながら、時流への批判の論陣をはりました。

その彼は、1935年（昭和10年）、戦争の足音が近づき、軍部が跋扈し、世の中が段々きなくさくなっていく中で、「^{こおろぎ}蟋蟀は 鳴き続けたり 嵐の夜」という句を詠んでいます。



悠々がこの句を詠んだときは、日中戦争の前でしたが、既に大陸では戦争が現実化し、治安維持法が猛威をふるい、多くの国民には、現行憲法が保障しているような表現の自由などの基本的人権がなきに等しい時代でした。

今も危機的状況ではありますが、幸い、わが国は、まだ、戦争をしていません。声を上げて行動しても、戦前と異なり、それだけで自由を奪われるようなことはありません。

今の時代が、再び嵐の夜になろうとするのであれば、私たちは、戦争への動きに抗して蟋蟀のように鳴き続けなければならない。一匹の蟋蟀では無理でも、無数の蟋蟀が大きな声で鳴き続けるのであれば、嵐を押し返すことができるのではないか。

悠々流に言うのであれば、私たちは、嵐の夜の前に、鳴き続ける^{こおろぎ}蟋蟀でありたいものです。

5月3日(憲法記念日)
スタンディング



「戦争する国にするな!」「平和憲法守れ」と、声をあげましょう。

栃木イオン・カワチ薬品前交差点
10時～(約30分)

5月3日 憲法記念日集会

記念講演 山田 朗氏

歴史の証言＝戦争の真実と憲法九条の輝き

5月3日(祝・金) 開会13:30～
とちぎ健康の森講堂(宇都宮市)

- ◆スタンディング 3月9日(土) 栃木市役所前 19日(火) イオン・カワチ薬品前交差点 (両日とも 午後3時～約30分間)
- ◆スタッフ会議 3月7日(木) くらら4階 3月22日(金) くらら2階 (両日とも午後1時半～)